ドライブレコーダー

DR- 1000 MS

取扱説明書

Ver.　3. 0

株式会社　中外

はじめに

本取扱説明書はＭＳ＆ＡＤインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社が開発した、お客さま向け運転診断サービス「運転ドック」用のデータ取得を目的に企画開発されたドライブレコーダー
ＤＲ－１０００ＭＳ専用の説明書です。

運転診断に必要なデータを安全かつ正しく取得するために、
★印の項目は必ずお読みください。

「運転ドック」は三井住友海上火災保険株式会社の登録商標です

もくじ

１．　★ドライブレコーダーの使用に際して　----------４
２．　★使用に対しての注意事項　----------４
３．　★データ保存　----------４
４．　各部品の名称　----------６
５．　各部機能　----------７
６．　★ドライブレコーダーの設置方法　----------８
　６－１　吸着式スタンド取り付けの準備作業
　６－２　吸着式スタンドの固定作業
　６－３　ドライブレコーダー取り付け位置の調整
　６－４　電源ケーブルの接続
７．　★ＳＤメモリーカードの取り出し方法　----------１０
８．　★ＤＲ－１０００ＭＳ特有の機能について（重要）----------１１
　８－１　自動電源切断機能（スリープモード）
　８－２　ＳＤメモリーカード上書き禁止機能
　８－３　ドライブレコーダー取り付け位置の調整
　８－４　電源ケーブルの接続
９．ドライブレコーダーの操作　----------１２
　９－１　基本録画機能
　９－２　長時間録画
　９－３　録画停止
　９－４　手動録画
　９－５　自動録画（衝撃録画）
　９－６　画像反転機能
　９－７　内蔵電池の充電
１０．Blackbox Player（専用ビューアー）の設定　----------１４
　１０－１　専用ビューアー（ＰＣ再生ソフト）
　１０－２　専用ビューアーの設定
１１．Blackbox Player（専用ビューアー）の使い方　----------１７
１２．　ＶＩＥＷＥＲ（映像再生ソフト）の操作説明　----------１８
１３．衝撃感度、時間機能の設定　----------１９
　１３－１　音量調整
　１３－２　Ｇセンサー（加速度センサー）の感度調整
　１３－３　日時調整
１４．設定の保存　----------２０
１５．データ管理　----------２１
１６．　データ管理データホルダーの説明　----------２１
１７．ファームウェアの更新　----------２２
１８．仕様　----------２３
１９．保証　----------２４

（運転診断に必要なデータを安全かつ正しく取得するために、★印の項目は必ずお読み下さい）

１．★　ドライブレコーダーの使用に際して

ドライブレコーダーを使用する前に、本取扱説明書に記載されている操作と安全に関する重要事項（★印）を必ずお読みください。使用中の事故などによる製品の変形、データの紛失、本製品の使用中によるその他損傷の責任は負いかねます。万一事故が発生した時に映像やデータが記録されていなかったり、破損していた場合についても、一切の責任は負いかねますのでご了承下さい。
本製品は自動車事故等の訴訟における事故状況などの証拠とし、本製品が取得した映像やデータなどの有効性を保証するものではありません。

２．★　使用に対しての注意事項

走行中に運転者は本製品の操作をしないで下さい。重大な事故につながることがあります。運転中の操作は同乗者が行ってください。

火災、感電、傷害、故障の原因となりますので、本製品の改造、分解しないで下さい。また水に濡らしたり、濡れた手で触れたりしないようにしてください。

吸着式スタンドを使用する際は、運転者の前方視界を妨げないような場所に設置してください。詳細については道路運送車両法に基く保安基準の「前方視界基準*」を国土交通省のホームページ等から参照してください。
*参考：http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha03/09/090707/090707.pdf（2010 年 4 月現在）

本製品に付属している電源ケーブル以外のケーブルは発熱、発火などの可能性があるので、使用しないで下さい。

本製品のお手入れをするときに、合成洗剤や洗浄剤を使用しないで下さい。

本製品は長時間直射日光にさらさないで下さい。内蔵電池から万が一液漏れなどが発生し、液に触れた時は直ちに触れた箇所を洗ってください。

本製品の使用中、発熱、液漏れ、そのほか異常と感じた時には電源スイッチを切り、電源コードをシガーソケットから外したうえで、サポートセンターに相談してください。

３．★　データ保存

以下の操作あるいは取扱を行うと、保存されているＳＤメモリーカードに記録されるデータに損傷を与える場合があります。

- 録画中に電源を切断する、シガーソケットから電源供給プラグを抜く
- 録画中にＳＤメモリーカードを抜き取る
- 電源を入れる際にＳＤメモリーカードを抜き取るもしくは差し込む
- 初期化せずに長期間ＳＤメモリーカードを使用する
  （少なくとも月２回は初期化することをおすすめします）
- その他異常な操作

★　「吸着式スタンド」をご使用になる際の注意事項について（重要）

吸着式スタンドは本体の吸着盤とダッシュボードとの間の空気圧を下げることにより、吸着するものです。ゴミやほこりが付着していたり、長時間使用すると吸着力が低下し脱落などの危険があります。また、ダッシュボードにゴムの跡が残る場合がありますので、以下の注意事項をよくお読みになり、ご使用ください。

（注意事項）

1．設置する前には、ダッシュボード上や吸着式スタンド底面（粘着性ゲル）のほこり、ゴミなどの汚れを落としてください。特に長期間未使用のスタンドを使用する際には、中性洗剤やアルカリ系洗剤等で粘着性ゲルの表面を必ず清掃してからご使用ください。

2．取り付ける際は、８頁の写真７のように、上からしっかりと押し付けた後、レバーを下げ、本体を前後に揺らしてしっかりと取り付けられていることを確認した上でご使用ください。吸着方法に不具合があると、運転中に落下するなど、重大な事故につながる可能性があります。

3．ダッシュボードの形状や素材によっては吸着力が保持できないため、確実な取付けが出来ない場合があります。確実に取り付けができない場合は「ドライブレコーダーサポートセンター」（この取扱説明書の最後のページに記載があります）にご相談ください。

4．長時間吸着したままで使用しないでください。このドライブレコーダーが取得できる運転データは最大２時間です。運転データ取得後は、速やかに取り外して下さい。取り外し後は吸着式スタンド底面の粘着性円盤（ゲル状のゴム盤）に汚れがつかないように、付属のプラスチックカバーで覆ってください。

5．万一、ダッシュボード上にゴムの跡が残った場合は、アルカリ系洗剤などで拭き取ってください。落ちにくい場合には、洗剤を含ませたキッチンペーパーなどをダッシュボードの設置箇所にしばらく置いて、汚れを浮かせてから拭き取ってください。さらに汚れが気になる場合は、シミ抜き用のベンジンが有効です。

４．各部品の名称

ドライブ診断用ドライブレコーダーキット

ドライブレコーダー

ブラケット

同梱のブラケットは「運転ドック」では使用しません。フロントガラスに常時取付ける場合にのみ、使用する部品です。

ＳＤメモリーカード

同梱されているＳＤメモリーカードのメーカー及びデザインは都度異なります。上記写真は一例となります。

電源ケーブル

取扱説明書

ケーブル取付マウント

吸着式スタンド

SDﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞﾘｰﾀﾞｰ

同梱されているケーブル取付マウントは常時取付ける場合にのみ、使用する部品です。

５．各部機能

電源スイッチ

ドライブレコーダーの作動を開始するためのスイッチです。

録画状態表示ランプ
（１０ページ）

録画状態を表示するランプです。

充電状態表示ランプ
（１０ページ）

充電状態を表示するランプです。

カメラレンズ

映像を記録する高性能のガラスレンズです。

長時間記録／録画停止ボタン
(１２ページ)

長時間録画、録画停止の操作が出来ます。

手動録画ボタン
(１３ページ)

手動で画像を記録することが出来ます。

ビデオ出力

別売のビデオケーブルを接続することで、記録された映像をビデオ入力のあるカーナビやモニターで簡易的にみることが出来ます。

電源入力
(8 ページ)

付属の電源コードのＬ型の端子を差し込みます

ＳＤメモリーカードスロット
(7 ページ)

ＳＤメモリーカードの挿入方法は次頁の写真１を参照してください。

６．★　ドライブレコーダーの設置方法

設置方法を誤ると、重大な事故につながる恐れがあります。
以下の取り付け方法をよく読んで、取り付けを行ってください。

６－１　吸着式スタンド取り付けの準備作業

ドライブレコーダー本体にＳＤメモリーカードを写真１のように、
正しく差し込んでください。
ドライブレコーダーを吸着式スタンドのホルダーに取り付けます。写真２のように、まず最初に、ドライブレコーダー本体下側（ＳＤメモリーカードを差し込んだ面）をホルダーの下側に差し込み、続いて本体上側を押し込んで写真３のようにしっかりと装着してください。

写真１

写真２

写真３

次に、吸着式スタンドをダッシュボード上に取り付ける位置を選んでください。
吸着式スタンドが運転中の前方の視界をさえぎることがないよう注意してください。
またダッシュボードの表面が極端にカーブしている場所への設置は避けてください。

取り付ける前にダッシュボード上のゴミや汚れを写真４のように、布などで、
きれいに拭き取ります。

写真５のように、吸着式スタンドの底面についているプラスチック製の
保護カバーを外します。（保護カバーは吸着吸盤を保護するために必要ですので、
なくさないようご注意ください）
続いてドライブレコーダー本体が装着された吸着式スタンドをダッシュボード上の
設置場所に写真６のように置きます。（このとき、吸着スタンドは傾いていても
構いません。吸着式スタンドをしっかりと固定したあとで調整します）

写真４

写真５

写真６

６－２　吸着式スタンドの固定作業

吸着式スタンドをダッシュボード上にしっかりと吸着させます。写真７のように、吸着式スタンド本体の上部を強くおさえ、そのまま手前のレバーを下に押し下げます。（ここで、ダッシュボードに吸着式スタンドがしっかりと固定されたことを確認ください）

※ダッシュボードの形状・材質によっては、吸着式スタンドが設置できないことがあります。吸着式スタンドがしっかりと固定できない場合には、診断を実施しないでください。（運転中に吸着式スタンドが脱落するケースがあり、大変危険です）

６－３　ドライブレコーダー取り付け位置の調整

写真８のように、ドライブレコーダー本体を装着しているホルダーの締め付けネジを緩めて、ドライブレコーダーのレンズが前面に向って垂直になるよう、またドライブレコーダー本体が水平になるよう、調整します。

（このときに、ドライブレコーダー本体を装着しているホルダーがスタンドにぶつかり、水平・垂直方向の調整が出来ない場合には、写真９の本体左側の、アームを固定しているレバーを一旦引き上げて解除し、アームを前に突き出し、再度アーム固定レバーを引き倒して固定した上で、水平・垂直方向の調整を行ってください）

調整が完了したら、写真８で緩めたネジを再び締め付けてください。

写真７

写真８

写真９

６－４　電源ケーブルの接続

ドライブレコーダー本体と車両の電源を接続するための準備作業を行います。

必ず車両のエンジンが停止している状態で、作業を行ってください。

写真１０の電源コードのＬ型の接続端子を写真１１のようにドライブレコーダーの本体側面下側の差込口にしっかりと差し込みます。反対側のＤＣ電源コネクターを車両のシガーソケットに差し込みます。余ったコードは写真１２のようにワイヤークランプで巻き取り、運転の障害にならないようにしてください。

写真１０

写真１１

写真１２

エンジンを始動すると、写真１３のように、ドライブレコーダー本体上面にある「充電表示状態ランプ」が点灯します。「充電中」は赤色、「充電完了状態」では緑色となります。
続いて、ドライブレコーダー本体の電源スイッチを「ＯＮ」にすると、ドライブレコーダー本体上面にある「録画状態表示ランプ」（下記「充電表示状態ランプ」の右側のランプ）が最初緑色に点滅、数秒でブザーが２度鳴り、録画状態に入ります。
録画状態に入ると、「録画状態表示ランプ」は橙色の連続点灯に変わり、
連続録画が開始されます。
(録画中は「録画状態表示ランプ」が常時橙色に点灯しています)

写真１３

以上で、診断のための準備は完了です。実際に道路を走行して、
診断のためのデータ取得を始めることが出来ます。
※ このドライブレコーダーではデータ取得開始から約２時間分の運転データを記録します。それ以降の運転データは記録されませんのでご注意下さい。（本ドライブレコーダーに付属の２ＧＢの容量のＳＤメモリーカードを使用する場合）
※ 詳しくは本取扱説明書 10 ページの
「８－２　ＳＤメモリーカード上書き禁止機能」を参照してください。

ご注意：吸着式スタンドの吸着面にほこりなどが付着すると吸着力が低下するので、その場合は濡れた布で、ほこりなどをふき取って、きれいにして使用してください。

７．★　ＳＤメモリーカードの取り出し方法

1. ドライブレコーダー側面にある ◉ 印 のボタンを押してください。
（詳しくは、「録画停止」について記載した本取扱説明書 11 ページを参照してください）
2. ドライブレコーダー本体の電源をＯＦＦにしてください。
3. 車のエンジンを切ってください。
4. すべてのランプが消えていることを確認してください。
5. この状態でドライブレコーダーからＳＤメモリーカードを
安全に取り出せます。
6. ＳＤメモリーカードを一旦奥の方向に押し、注意しながら取り出します。

※上記１～６の手順でＳＤメモリーカードの取り外しを行わなかった場合、正確な運転データが記録されず診断に支障をきたす場合があります。

ご注意：ＳＤメモリーカードの破損を防止するため、持ち運びの際には、同梱のＳＤメモリーカードケース（乳白色のケース）またはＳＤメモリーカードリーダーなどを利用してください。

８．★　ＤＲ－１０００ＭＳ特有の機能について（重要）

８－１　自動電源切断機能（スリープモード）

（運転診断を実施するために、駐車時のデータを取得しないように設定しています）

本ドライブレコーダーには自動電源切断機能（「スリープモード」と呼びます）が搭載されています。
スリープモードは、ドライブレコーダーを使って、運転データを記録している際、駐車などでエンジンが遮断された場合、ドライブレコーダーの電源スイッチをその都度ＯＦＦにしなくても、自動的にドライブレコーダーの電源を切断する機能です。再度エンジンをスタートし、シガーライターから電源が供給され始めると、自動的に元の状態に復帰し、それまでの動作状態に復帰します。

８－２　ＳＤメモリーカード上書き禁止機能

（診断に必要な運転データを保存するための機能です）

本ドライブレコーダーでは取得した運転データをＳＤメモリーカードに保存します。付属のＳＤメモリーカードは２ＧＢとなっています。このＳＤメモリーカードを使用して、連続録画を行うと、約２時間のデータを記録することが出来ます（標準設定の場合）。ＳＤメモリーカードの容量が一杯になると、記録されたデータが消去されることがないよう、自動的に記録を停止します。更に記録を継続したい場合は、別のＳＤメモリーカードを使用するか、大容量のＳＤメモリーカードを使用してください。最大１６ＧＢのＳＤメモリーカードまで使用することが出来ます。

※ 本ドライブレコーダーは、運転診断を受診するお客さまのプライバシーを保護するため、音声記録をしない設定にしてあります。

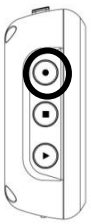
ここから先は、本ドライブレコーダーの機能と、操作方法を説明しています。ドライブレコーダーの詳細な機能については以下の説明を読んでください。

９．ドライブレコーダーの操作

９－１　基本録画機能

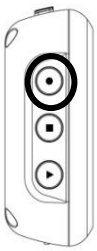
ドライブレコーダーの電源スイッチをＯＮにすると、「録画状態表示ランプ」が数秒間緑色に点灯します。その後、短いブザー音と共にランプの色が橙色に変わり、周囲の状況に応じて毎秒１５～３０コマで連続録画を開始します。
ＳＤメモリーカードが挿入されていないと１秒毎の短いブザー音と共に「録画状態表示ランプ」が赤色に点灯し、ＳＤメモリーカードが挿入されていないことをお知らせします。
ＳＤメモリーカードはドライブレコーダーの電源スイッチが切れている（ＯＦＦ）時にのみ挿入（または取り外し）してください。

９－２　長時間録画



このモードは低いフレーム数で記録するため長時間記録が可能となります。
このボタンを押すと、自動的に長時間録画が始まります。「〇印」のボタンを一回押すとフレーム数は毎秒１～２コマとなり、ＳＤメモリーカードに保存されます。
このモードでは「録画状態表示ランプ」は橙色、赤色で交互に点灯し、長時間録画モードで録画中であることを知らせます。
連続録画モードに戻すにはこのボタンをもう一度押すと、「録画状態表示ランプ」は橙色で連続点灯し、連続録画モードとなります。ボタンを押すたびに短いブザー音が２回鳴ります。

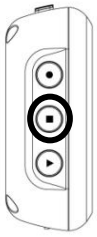
９－３　録画停止



録画を停止したりＳＤメモリーカードを抜き取るには録画中に「〇印」のボタンを約２秒間長押します。録画は長いブザー音が１回鳴って停止します。「録画状態表示ランプ」が緑色になります。
もう一度録画を開始したい場合は、「〇印」のボタンをもう一度押します。長いブザー音が１回鳴り、「録画状態表示ランプ」が橙色に点灯します。

☞ 録画停止状態（「録画状態表示ランプ」が緑色に点灯）であっても衝撃があれば衝撃録画が自動的に始まり、ＥＶＥＮＴホルダーに映像データなどを記録したあと、１５秒後に、再び停止状態に戻ります。

９－４　手動録画



もし録画停止中或いは連続録画中に、映像を別のホルダー（ＥＶＥＮＴホルダー）に録画保存したい場合には、この機能を使います。

「〇印」のボタンを押すと短いブザー音が２回鳴り、手動録画が始まり、「録画状態表示」ランプが赤色に点灯します。３０秒後に元の状態に自動的に戻ります。手動録画に入る前に連続録画を行っていた時には、自動的に連続録画機能に戻り録画を続けます。

この機能では自動録画（衝撃録画）と同様に、録画された画像はＳＤメモリーカードの「ＥＶＥＮＴホルダー」に保存されます。

９－５　自動録画(衝撃録画)

ドライブレコーダーが作動中、事故などで衝撃があった時、 Ｇセンサー（加速度センサー）が衝撃を感知し自動的に録画を始めます。ドライブレコーダーは衝撃前後各１５秒の画像を録画し、ＳＤメモリーカードの「ＥＶＥＮＴホルダー」に保存されます。この時には短いブザー音が３回鳴り、「録画状態表示ランプ」が赤色で点灯します。

９－６　画像反転機能

本ドライブレコーダーには本体の上下方向を反転させて常に正しく録画する機能があります。ドライブレコーダーをダッシュボードに装着した場合と、フロントガラスの上部に装着した場合で、本体の装着方向が上下逆になりますが、記録される画像を自動的に補正する機能です。

注意：記録する画像の上下を反転させるためには、ドライブレコーダーの電源を一度ＯＦＦにしてから、本体の上下方向を反転させ、再び電源をＯＮにする必要があります。（録画中に本体を反転させても記録する画像は自動補正されません）

９－７　内蔵電池の充電

ドライブレコーダーに内蔵しているリチウムポリマー電池はドライブレコーダーを車のシガーソケットに接続すると本体電源のＯＮ／ＯＦＦに関わらず充電が始まります。

シガーソケットからの電源供給が止まると長いブザー音が２回鳴り、「充電状態表示ランプ」が消えます。再び電源が入ると充電を再開します。この場合「充電状態表示ランプ」は赤色に点灯していますが、充電が完了すると緑色に変わります。

内蔵電池は消耗品です。内蔵電池は充放電を繰り返すと作動時間が短くなります。（内蔵電池の性能保証期間は６ヶ月です）
内蔵電池の交換には別途費用がかかります。
（電池寿命は使用状況によって変わります）
詳細については２４ページのサポートセンターにお問い合わせ下さい。

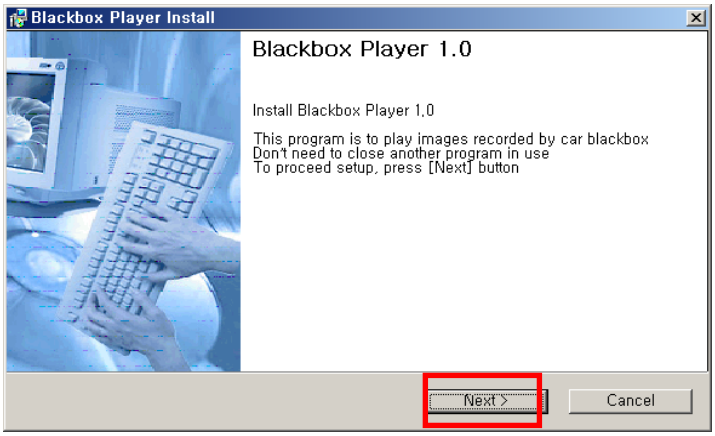
１０．Blackbox Player（専用ビューアー）の設定

１０－１　専用ビューアー（ＰＣ用再生ソフト）

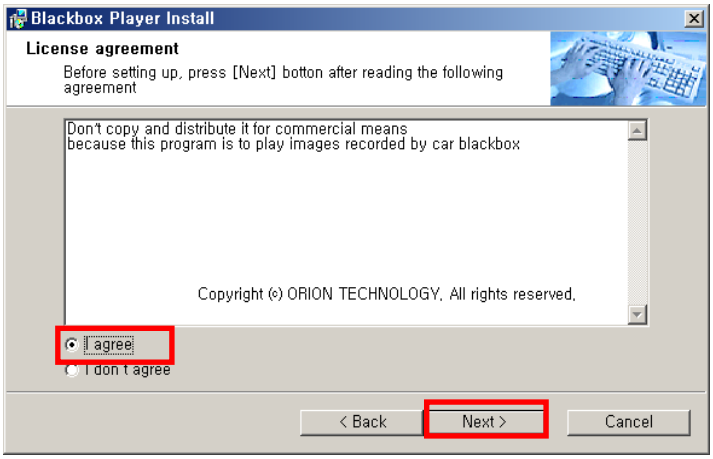
本製品に添付されているＳＤメモリーカードには専用ビューアーソフトが記録されています。専用ビューアーを使うと、ドライブレコーダーの時間設定や衝撃録画の感度調整などが出来ます。またＳＤメモリーカードに記録されている画像ファイルを、Windows Media PlayerやQuickTime Playerのような特定のファイルに変換することなく再生することができます。

１０－２　専用ビューアーの設定

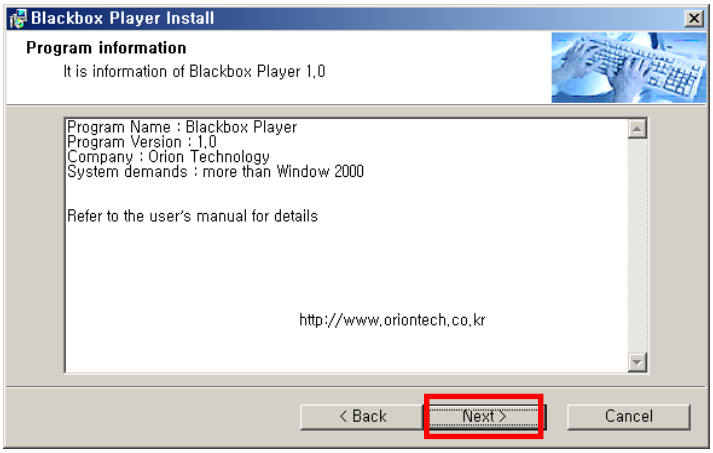
同梱のＳＤメモリーカードに入っている
「BlackboxPlayer_1.0_installer.exe」 をお持ちのＰＣのデスクトップ上にコピーしたあと、このファイルをダブルクリックしてください。



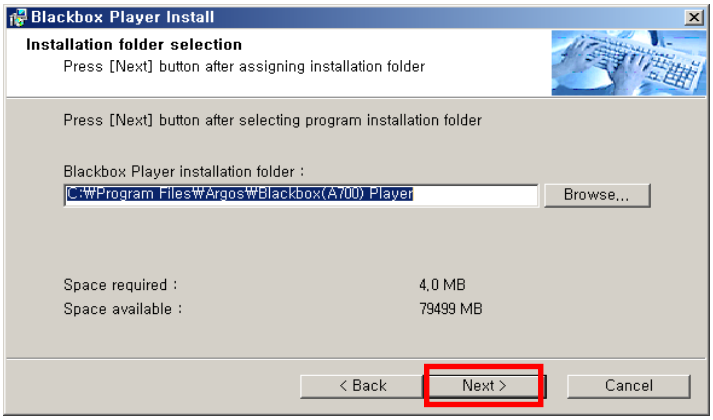
「次へ（Next）」をクリック


Blackbox Player Install
License agreement
Before setting up, press [Next] botton after reading the following agreement
Don't copy and distribute it for commercial means
because this program is to play images recorded by car blackbox
Copyright (c) ORION TECHNOLOGY. All rights reserved.
I agree
I don t agree
< Back
Next >
Cancel

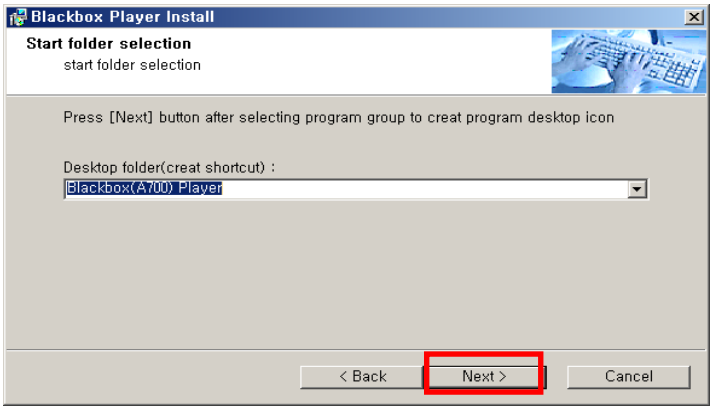
「同意（I agree）」の後に「次へ（Next）」をクリック


Blackbox Player Install
Program information
It is information of Blackbox Player 1.0
Program Name : Blackbox Player
Program Version : 1.0
Company : Orion Technology
System demands : more than Window 2000
Refer to the user's manual for details
http://www.oriontech.co.kr
< Back
Next >
Cancel

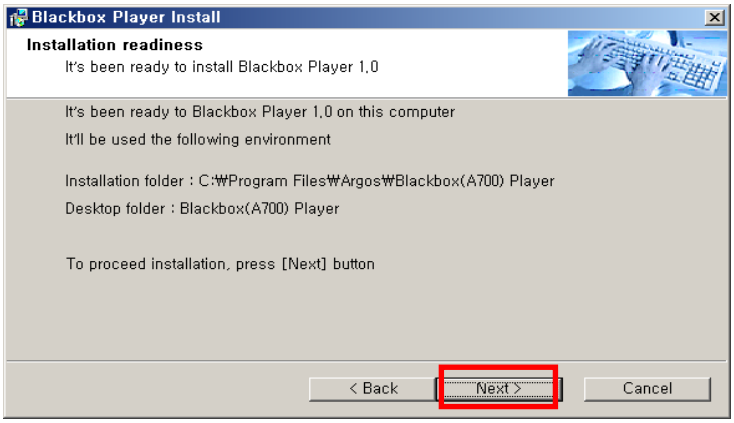
「次へ（Next）」をクリック



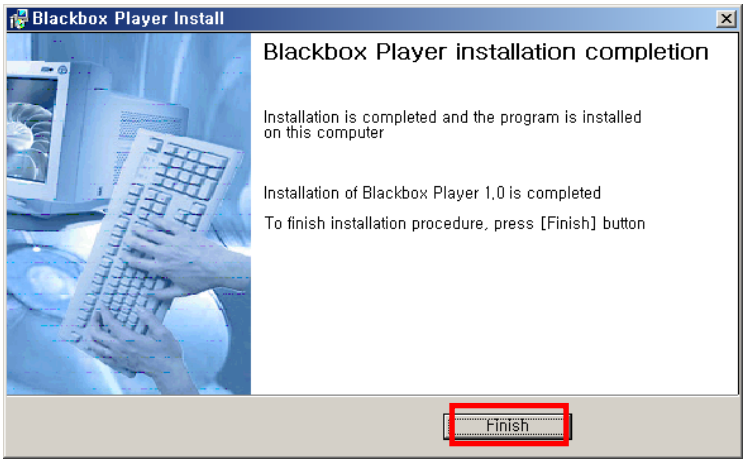
「次へ（Next）」をクリック


Blackbox Player Install
Start folder selection
start folder selection
Press [Next] button after selecting program group to creat program desktop icon
Desktop folder(creat shortcut) :
Blackbox(A700) Player
< Back
Next >
Cancel

Blackbox Playerを設定するフォルダーを選び、
「次へ（Next）」をクリック


Blackbox Player Install
Installation readiness
It's been ready to install Blackbox Player 1.0
It's been ready to Blackbox Player 1.0 on this computer
It'll be used the following environment
Installation folder : C:₩Program Files₩Argos₩Blackbox(A700) Player
Desktop folder : Blackbox(A700) Player
To proceed installation, press [Next] button
< Back
Next >
Cancel

「次へ（Next）」をクリック

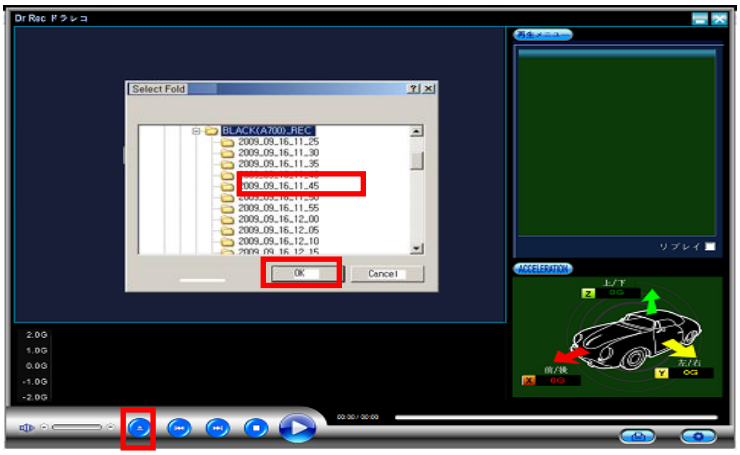

Blackbox Player Install
Blackbox Player installation completion
Installation is completed and the program is installed on this computer
Installation of Blackbox Player 1.0 is completed
To finish installation procedure, press [Finish] button
Finish

「終了（Finish）」をクリックし、設定を終了すると、
Blackbox Player のアイコンがデスクトップ上に作成されます。

１１．Blackbox Player（専用ビューアー）の使い方

パソコンのデスクトップにあるBlackbox Playerの
アイコンをクリックして、専用ビューアーを立ち上げます。

ＳＤメモリーカードをＰＣに挿入した後、 をクリックし、
録画された画像をチェックするため、“A700_EVENT”もしくは
“A700_REC”フォルダーを選ぶ。 画像をチェックするため一つの
ホルダーを選択し、「確認」をクリックします。



ファイルリストが右画面に表示されます。
ファイルのひとつをクリックすると録画された画像が
下記の画面のように表示されます。

１２．　ＶＩＥＷＥＲ（映像再生ソフト）の操作説明

NO.	アイコン	機能	NO.	アイコン	機能
①		ビューアーを隠す	⑨		ファイルを開く
②		ウインドウを閉じる	⑩		早戻し
③		視聴画面	⑪		早送り
④		ファイルリスト	⑫		停止
⑤		リピート（繰り返し再生）	⑬	 	再生 停止
⑥		加速度のグラフ	⑭		再生スクロールバー
⑦		加速度の値	⑮		設定ボタン
⑧		再生音量の調整			

１３．衝撃感度、時間機能の設定:

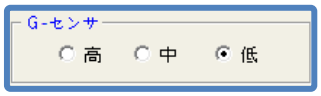
手動で設定値や時間を調整するには「⑮設定」(Configuration)ボタン」を押してください。

１３－１　音量とブザー音の調整

本モデルでは運転診断を受診する方のプライバシーを保護するために、音声は記録できません。また、ブザー音は安全のために消去できません

１３－２　Ｇセンサー（加速度センサー）の感度調整

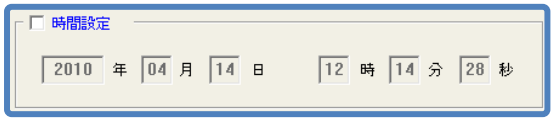
自動記録が行われる衝撃感度を調整することが出来ます。



☞ 設定を「Ｈｉｇｈ」にすると、衝撃記録の頻度が高く（多く）なります。必要に応じ、適切な感度設定を行ってください。

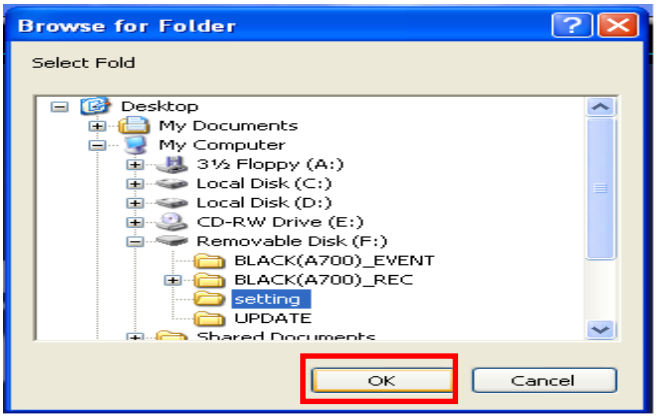
１３－３　日時調整

①ドライブレコーダーに設定されている時間は工場出荷時に調整済みです。
②長時間使用し、時間がずれてきたときには設定を行ってください。
③年、月、日、時間を調整することができます。



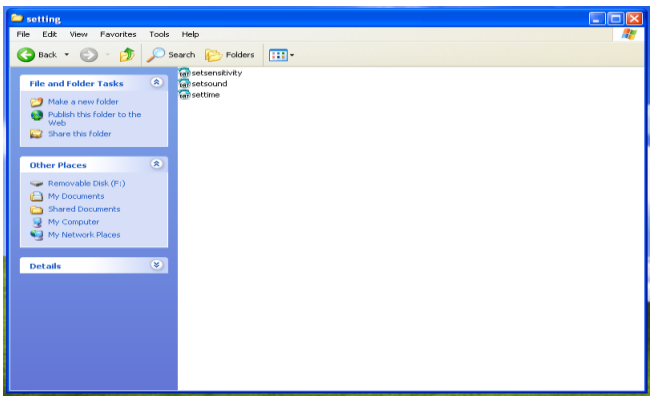
☞ 設定を保存するには“Time setting” box”.にチェックを入れてください。

１４．　設定の保存



衝撃感度、時間を変更した後に専用ビューアーの画面上の“Select Folder”をクリックし、上図にある ＳＤメモリーカードのホルダーの“Setting”を選び保存するために「ＯＫ」をクリックしてください。

再度「ＯＫ」をクリックしてください。



設定はＳＤメモリーカードに保存されます。ドライブレコーダーに設定を組み込むにはＳＤメモリーカードを挿入し、電源を入れてください。

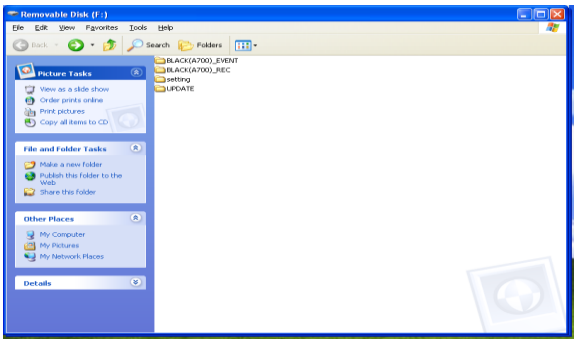
☞．ドライブレコーダーにＳＤメモリーカードを挿入し、ドライブレコーダーが動作した時点で日時設定が行われます。適切な設定を行うためには、正時（例えば 10 時）の前にその時間で日時設定を予め行い、設定したＳＤメモリーカードをドライブレコーダー本体に挿入し、正時のラジオなどの時報で電源をＯＮにすることで、精度の高い設定を行うことが出来ます。

１５．　データ管理

下記はこの製品の使用方法およびデータの安全な保護方法についての説明です。
重要なデータは定期的にお持ちのパソコンに保存することをおすすめします。
長時間の画像を記録しておくためには、容量の大きいＳＤメモリーカードをお使いください。
少なくとも月２回はＳＤメモリーカードを初期化することをおすすめします。
(☞　ＳＤメモリーカードのタイプは “FAT32”です。)
常にこの製品のファームウエアを使用してください。

１６．　データホルダーの説明

ＳＤメモリーカードをドライブレコーダーの本体に挿入し、電源を入れます。
下記のフォルダーがＳＤメモリーカードに自動的に作成されます。



A700_EVENT
このフォルダーは自動録画もしくは手動録画で保存されたデータが
記録されます。

<< EVS_date>>:　　Ｇセンサー（加速度）データ
<< EVK_date>>:　　手動録画のデータ

A700_REC
このフォルダーは通常の録画での記録で、ドライブレコーダーの電源がＯＮになると、自動的に録画データが生成されます。

<< REC_date>>:　　連続録画のデータ

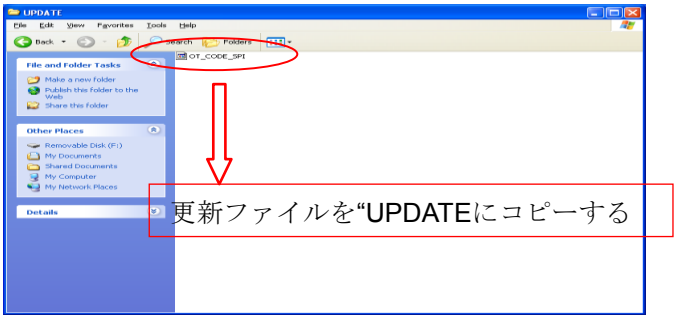
SETTING
このホルダーは専用ビューアーで設定されたデータを
保存するためのものです。

<<Setsensitivity.dat>>:　　Ｇセンサー（衝撃感知）感度設定のデータ
<<Setsound.dat>>:　　音声感度設定のデータ
<<Settime.dat>>:　　日時設定のデータ

１７．　ファームウェアの更新

今後の機能向上のためにファームウエアが更新されることがあります。その場合更新ファイルは“UPDATE”フォルダーに保存されます。

1. 弊社のホームページより更新ファイルをダウンロードしてください。
   （http://www.chg.co.jp/drive/）
2. ＳＤメモリーカードの更新フォルダー（UPDATE）に保存してください。
3. 保存されたＳＤメモリーカードをドライブレコーダーに挿入し、稼動させてください。自動的に新しいファームウェアに更新されます。
   更新中は録画状態表示ランプが赤色に点灯し、
   その後ドライブレコーダーは起動します。



１８．　仕様

一 般 仕 様		備　考
記録形態	通常録画及び加速度データ記録	加速度センサー及びブザー
	衝撃感知記録	衝撃感知前後１５秒
再生ソフト	専用プレーヤー(ビューアー)又は汎用プレーヤー(Window media player or Apple QuickTime player. その他のプレーヤー ）	MP4 プレーヤーをサポート
録画モード	自動もしくは手動	
電池	２次リチウムポリマー電池 （内臓）	
保存	ＳＤメモリーカード （２ＧＢ）	Max. 16G（ＳＤＨＣ）
カメラ	C-MOS, 120˚（対角）	
映像出力	簡易ビデオ出力	
映像記録方式	MPEG4	
解像度	640 X 480	
録画フレーム数	最大毎秒 30 フレーム.	長時間記録時 １～２フレーム
日時設定	設定可能	記録時間帯表示
電源電圧	DC 12V ~24V	
サイズ	68(幅) * 48(高さ) * 19(厚さ) mm	本体寸法
使用温度	0 ~ 60℃	

注記：Window media player 、Apple QuickTime playerはマイクロソフト社及びアップルコンピュータ社が保有する商標です。

１９．　保証

１年間保証

使用者の責による場合を除き、いかなる不具合に対しても購入日から１年間の保証をします。　この保証期間中は、製造者は修理もしくは無償での交換に応じます。
（ただし電池の保証期間は６ヶ月間となります）

有償サービス

製造者は使用者の責による不具合あるいは保証期間以後に生じた不具合にも有償でサービスを行います。情報、価格等は下記のドライブレコーダーサポートセンターに連絡してください。

モデル名	
シリアル番号.	
購入日	年　　月　　日
購入店名	

Made in Korea
Name of device : Drive Recorder
Model : DR-1000 MS

機器の故障等に関するお問い合わせは、下記にお願いします。

ドライブレコーダーサポートセンター　☎０３－３５１３－０４６０
土日祝日を除く１０時～１３時、１４時～１７時

輸入元：株式会社　中外
東京都千代田区鍛冶町１－８－６　神田ＫＳビル４階

DR-1000MS-4-2,000